

# 【ご案内】ファンド併合について(実施報告) / MSCI指数の構成国の変更について

## ■ ファンド併合について(実施報告)

被併合ファンドの年投(外)E07(MSCI EM連動型/レンディング無)について、運用スタイルを併合先ファンドの年投(外)E06(MSCI EM連動型/レンディング有)と共通化した上で、両ファンドの併合を行いましたのでご報告いたします。

### 1. 併合対象ファンド

資産	外国株式
被併合ファンド	E07 (MSCI EM連動型/レンディング無)
併合ファンド	E06 (MSCI EM連動型/レンディング有)

### 2. 実施時期

時価基準日	2019年11月19日
併合日	2019年11月22日

### 3. 異動金額

併合先ファンドへの移管金額	186,058,622 円
被併合ファンドの受益者への交付金額	9,880 円

- ・被併合ファンドE07で保有する資産は、適正時価でE06へ移管しました
- ・2019年11月19日基準のファンド時価総額  
E06:約861億円、E07:約2億円

## ■ MSCI指数の構成国の変更について

MSCIは、2020年5月末の指数見直しに合わせて、クウェートの分類を「フロンティア市場」から「新興国市場」に変更することを発表しました。

### 【MSCIの市場分類】

MSCIでは、「経済発展基準」「市場性規模・流動性基準」「市場アクセス」の3つの基準に基づき、指数の構成国を「先進国市場」「新興国市場」「フロンティア市場」に分類しており、適宜見直しを実施しています。「フロンティア市場」から「新興国市場」に分類されるためには、上記の基準のうち「市場性規模・流動性基準」「市場アクセス」の2つで一定の基準を満たしていることが求められています。

### 【クウェートの分類変更について】

クウェートは2017年5月以降市場改革に取り組み、グローバル投資家のクウェート市場へのアクセスが大幅に改善しています。2019年6月のMSCIによる市場分類レビューでは、クウェート国内の投資家のみ利用できる制度が残っていることが問題されていましたが、クウェートの資本市場庁が同年10月に当該制度の外国人機関投資家への開放を発表したことを受け、MSCIは2020年5月末付でクウェートを「フロンティア市場」から「新興国市場」に変更することを決定しました。

### 【組入れ比率】

MSCI Emerging Markets Indexにおける組入れ比率は、約0.7%となる見込みです。